

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202301

科目名	建築製図			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	5単位	担当教員	中川 慶一郎・早稲田 敦也		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築設計に必要な科目を学習の基礎として木造及び鉄筋コンクリート造建築物の各図面の内容を理解すると共に、図面描画力、図面読解力及び設計力を養う。前期は、木造平家建て住宅の説明と作図を通して建築物の一般図と構造図を理解し、設計図書作成の基礎を学習する。後期は、木造2階建て専用住宅の設計力を付けると共に、鉄筋コンクリート造建築物の基礎及び各図面の表現方法を学習する。

教科書・参考書名 超入門 建築製図(第五版)

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○		○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	30%	○		○		○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	基本表現①	第1回	木造 保育所 トレース課題①
概要	線の練習	概要	課題文の読込
第2回	基本表現②	第2回	木造 保育所 トレース課題②
概要	文字・記号の練習	概要	作図
第3回	基本表現③	第3回	木造 保育所 トレース課題③
概要	拡大図による平面図の理解	概要	作図
第4回	木造平家建て住宅①	第4回	木造 専用住宅 設計課題①
概要	配置図	概要	課題文の読込
第5回	木造平家建て住宅②	第5回	木造 専用住宅 設計課題②
概要	平面図	概要	課題文の読込・エスキース
第6回	木造平家建て住宅③	第6回	木造 専用住宅 設計課題③
概要	断面図	概要	エスキース
第7回	木造平家建て住宅④	第7回	木造 専用住宅 設計課題④
概要	立面図	概要	作図
第8回	木造2階建て住宅①	第8回	木造 専用住宅 設計課題⑤
概要	屋根伏兼配置図	概要	作図
第9回	木造2階建て住宅②	第9回	RC造 2階建て住宅①
概要	1.2階平面図	概要	配置図兼1階平面図・2階平面図
第10回	木造2階建て住宅③	第10回	RC造 2階建て住宅②
概要	矩計図①	概要	詳細図・矩計図①
第11回	木造2階建て住宅④	第11回	RC造 2階建て住宅③
概要	矩計図②	概要	矩計図②
第12回	木造2階建て住宅⑤	第12回	RC造 2階建て住宅④
概要	断面図・立面図	概要	立面図・断面図
第13回	木造2階建て住宅⑥	第13回	RC造 貸店舗付き住宅 設計課題①
概要	基礎伏図・1階床伏図	概要	課題文の読込・エスキース
第14回	木造2階建て住宅⑦	第14回	RC造 貸店舗付き住宅 設計課題①
概要	2階床伏図・小屋伏図	概要	エスキース
第15回	木造図面の起こし方	第15回	RC造 貸店舗付き住宅 設計課題①
概要	床伏図(材断の決め方)・断面図	概要	配置図兼1階平面図・2階平面図

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202201

科目名	建築設計製図			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	6単位	担当教員	辰井 菜緒		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

各科目で学習した知識を応用して、設計に必要な考察力及び、設計図書作成に必要な能力を養う。

教科書・参考書名 | 超入門 建築製図(第五版)

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	80%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	S造 集会所 ①	第1回	木造 景勝地住宅①
概要	解説講義	概要	課題文の読み込み
第2回	S造 集会所 ②	第2回	木造 景勝地住宅②
概要	平面図	概要	エスキースの概要説明
第3回	S造 集会所 ③	第3回	木造 景勝地住宅③
概要	立面図	概要	エスキース評価・検索
第4回	S造 集会所 ④	第4回	木造 景勝地住宅④
概要	断面図	概要	配置図兼1階平面図・2階平面図
第5回	S造 集会所 ⑤	第5回	木造 景勝地住宅⑤
概要	矩計図	概要	立面図・断面図
第6回	S造 集会所 ⑥	第6回	木造 景勝地住宅⑥
概要	矩計図	概要	矩計図
第7回	RC造 歯科診療所併用住宅①	第7回	木造 景勝地住宅⑦
概要	課題文の読み込み	概要	矩計図
第8回	RC造 歯科診療所併用住宅②	第8回	木造 景勝地住宅⑧
概要	エスキースの概要説明	概要	バース作品完成
第9回	RC造 歯科診療所併用住宅②	第9回	RC造 公共施設①
概要	エスキース	概要	課題文の読み込み
第10回	RC造 歯科診療所併用住宅③	第10回	RC造 公共施設②
概要	エスキース評価・検索	概要	エスキースの概要説明
第11回	RC造 歯科診療所併用住宅④	第11回	RC造 公共施設③
概要	配置図兼1階平面図・2階平面図	概要	エスキース評価・検索
第12回	RC造 歯科診療所併用住宅⑤	第12回	RC造 公共施設④
概要	配置図兼1階平面図・2階平面図	概要	配置図兼1階平面図・2階平面図
第13回	RC造 歯科診療所併用住宅⑥	第13回	RC造 公共施設⑤
概要	立面図・断面図	概要	立面図・断面図
第14回	RC造 歯科診療所併用住宅⑦	第14回	RC造 公共施設⑥
概要	部分詳細図	概要	柱・断面リスト・構造図
第15回	RC造 歯科診療所併用住宅⑧	第15回	RC造 公共施設⑦
概要	設計概要・所要計算	概要	設計概要・所要計算

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202202

科目名	BIM設計			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	辰井 菜緒・岡部 優季		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

BIMソフトであるRevitを用いて建築分野で必要とされる三次元のBIMシステムについて、その操作法を実習する。BIMソフトを使用して設計図面を作成できる力を養う。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	10%	○	○		○	
小テスト						
課題	60%	○	○	○	○	
プレゼンテーション	10%	○		○	○	
グループワーク	10%	○			○	○
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ガイダンス	第1回	BIMソフトについて
概要	授業の概要・目的	概要	CG演習で前期に行ったRevitの基本操作の確認
第2回	Revitの基本操作	第2回	3Dモデルの作成1
概要	Revitの基本操作について復習をする	概要	実在する建築物をモデリングする
第3回	3Dモデリングデータの作成1	第3回	3Dモデルの作成2
概要	戸建事務所のモデリングを行う	概要	実在する建築物をモデリングする
第4回	3Dモデリングデータの作成2	第4回	3Dモデルの作成3
概要	戸建事務所のモデリングを行う	概要	実在する建築物をモデリングする
第5回	3Dモデリングデータの作成3	第5回	3Dモデルの作成4
概要	戸建事務所のモデリングを行う	概要	実在する建築物をモデリングする
第6回	3Dモデリングデータの作成4	第6回	3Dモデリングデータの活用4
概要	戸建事務所のモデリングを行う	概要	作成したデータを基に一般図の作成・印刷を行う
第7回	3Dモデリングデータの活用1	第7回	3Dモデリングデータの活用5
概要	モデリングデータを基に集計表の作成などを行う	概要	レンダリングソフトと連携し、パースと動画の作成を行う
第8回	3Dモデリングデータの活用2	第8回	プレゼン資料の作成1
概要	モデリングデータを基に各図面とアイソメ図の調整を行う	概要	プレゼンボードやスライドの作成を行う
第9回	3Dモデリングデータの作成5	第9回	グループディスカッション・プレゼンテーション
概要	オフィスビルのモデリングを行う	概要	作成した資料を使用し、小グループでのディスカッションを行う
第10回	3Dモデリングデータの作成6	第10回	自由設計課題1
概要	オフィスビルのモデリングを行う	概要	手描きのエスキスを作成する
第11回	3Dモデリングデータの作成7	第11回	自由設計課題2
概要	オフィスビルのモデリングを行う	概要	BIMやモデリングソフトを使用し、データを作成する
第12回	3Dモデリングデータの作成8	第12回	自由設計課題3
概要	オフィスビルのモデリングを行う	概要	BIMやモデリングソフトを使用し、データを作成する
第13回	3Dモデリングデータの活用3	第13回	自由設計課題4
概要	集計表と敷地作成・Revitを使用した外観パースの作成	概要	レンダリングソフトやAdobeソフトを使用し、パースを作成する
第14回	3Dファミリモデルの作成1	第14回	自由設計課題5
概要	テーブルとドアのモデル作成を行う	概要	プレゼン用資料を作成する
第15回	3Dファミリモデルの作成2	第15回	プレゼンテーション・講評会
概要	既存ファミリモデルの編集とオリジナルファミリの作成	概要	自由な表現方法でプレゼンテーションする

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202302

科目名	建築計画学			対象学科	建築デジタルデザイン 学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	鍵谷 啓太・昇 勇		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築に関する諸学の根幹の科目として位置づけ、寸法計画、規模計画、動線などについての基礎的知識、機能やプログラム、ビルディングタイプの解釈や成立の過程、環境心理や行動の実証的基礎理論について学習することを通じて、設計やデザインのための統合された知識と能力が修得できる。前期は主に建築の基礎である住空間について、後期は社会を構成する様々なビルディングタイプをテーマとする。

教科書・参考書名 改訂版 図説 やさしい建築計画

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト						
課題	20%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	建築計画の基本知識	第1回	美術館・博物館の計画 1
概要	建築の単位、寸法、基本的用語を学ぶ	概要	美術館・博物館の歴史、最近の計画、今後の可能性について学ぶ
第2回	各部および単位空間の計画 1	第2回	美術館・博物館の計画 2
概要	建築の各部位および各単位空間について、名称と役割を学ぶ	概要	中規模美術館のゾーニング、展示方法、照明計画について学ぶ
第3回	単位空間の計画 2	第3回	美術館・博物館の計画 3
概要	建築の各単位空間について、名称と役割を学ぶ	概要	美術館の来館者ゾーン諸室の計画、巡回形式について学ぶ
第4回	単位空間の計画 3	第4回	美術館・博物館の計画 4
概要	建築の各単位空間を実測しスケッチする	概要	美術館の館員・搬出入収蔵ゾーン諸室の計画について学ぶ
第5回	独立住宅の計画 1	第5回	図書館の計画 1
概要	独立住宅のゾーニング、配置、諸室の計画について学ぶ	概要	図書館の歴史、最近の計画、今後の可能性について学ぶ
第6回	独立住宅の計画 2	第6回	図書館の計画 2
概要	独立住宅の諸室の計画について学ぶ	概要	地域中央図書館のゾーニング、分類について学ぶ
第7回	独立住宅の計画 3	第7回	図書館の計画 3
概要	与条件をもとにして、独立住宅の計画を行なう	概要	地域中央図書館の来館者ゾーン諸室の計画について学ぶ
第8回	独立住宅の計画 4	第8回	図書館の計画 4
概要	与条件をもとにして、独立住宅の計画を行なう	概要	地域中央図書館の館員ゾーン諸室の計画について学ぶ
第9回	集合住宅の計画 1	第9回	幼稚園・保育園・乳幼児施設の計画 1
概要	集合住宅のアクセスタイル、断面による分類、用語について学ぶ	概要	施設ごとの概要、ゾーニングについて学ぶ
第10回	集合住宅の計画 2	第10回	幼稚園・保育園・乳幼児施設の計画 2
概要	集合住宅のゾーニング、区分について学ぶ	概要	全体施設計画、配置・平面計画とその目的について学ぶ
第11回	集合住宅の計画 3	第11回	幼稚園・保育園・乳幼児施設の計画 3
概要	集合住宅の住戸計画上の要点について学ぶ	概要	諸室の計画、遊び空間と発達との関係について学ぶ
第12回	小学校の計画 1	第12回	オフィスビルの計画 1
概要	小学校のゾーニング、運営方式について学ぶ	概要	オフィスビルのゾーニング、コアタイプについて学ぶ
第13回	小学校の計画 2	第13回	オフィスビルの計画 2
概要	小学校の諸室配置と計画について学ぶ	概要	配置計画、レンタブル比とコストプランの関係について学ぶ
第14回	小学校の計画 3	第14回	オフィスビルの計画 3
概要	小学校関係法令、諸室の計画上の要点、適正規模について学ぶ	概要	モジュラープランニング、建物規模の概算、EV計画について学ぶ
第15回	前期建築計画学のまとめ	第15回	後期建築計画学のまとめ
概要	前期授業範囲のふり返りとまとめ学習	概要	後期授業範囲のふり返りとまとめ学習

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202303

科目名	建築史			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	田中おと吉		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

建築の歴史の発生から発展を通して、文化・施工・材料・計画・構造・設備などを総合的学び、新しい建築への創造力と洞察力を体得する。

教科書・参考書名 学びのポイント建築史

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	70%	○	○			
小テスト	10%	○	○			
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	西洋建築史 その1 概要 建築の発生と古代文明の建築	第1回	日本建築史 その5 概要 密教建築と浄土教建築
第2回	西洋建築史 その2 概要 ギリシア建築の神殿と都市基盤	第2回	日本建築史 その6 概要 神社建築の発展と大仏様
第3回	西洋建築史 その3 概要 ローマ建築の背景・技術と都市施設	第3回	日本建築史 その7 概要 禅宗様と新和様・折衷様
第4回	西洋建築史 その4 概要 初期キリスト教建築の構成とその発展	第4回	日本建築史 その8 概要 書院造の発生と発展
第5回	西洋建築史 その5 概要 ビザンチン建築とイスラム建築	第5回	日本建築史 その9 概要 城郭建築と茶室
第6回	西洋建築史 その6 概要 ロマネスク建築の背景とその発展	第6回	日本建築史 その10 概要 近世の寺社建築と民衆建築
第7回	西洋建築史 その7 概要 ゴシック建築の背景とその技術	第7回	近現代建築史 その1 概要 万博の建築とアーツ・アンド・クラフツ運動
第8回	西洋建築史 その8 概要 初期ルネサンス建築の発生と拡散	第8回	近現代建築史 その2 概要 アール・ヌーボーと20世紀初頭の建築運動
第9回	西洋建築史 その9 概要 盛期ルネサンスとマニエリスム期の建築	第9回	近現代建築史 その3 概要 20世紀初頭の建築家たち
第10回	西洋建築史 その10 概要 バロック建築とロココ建築	第10回	近現代建築史 その4 概要 バウハウスとインターナショナル・スタイル
第11回	西洋建築史 その11 概要 新古典主義建築と歴史主義建築	第11回	近現代建築史 その5 概要 近代建築の四大巨匠 その1
第12回	日本建築史 その1 概要 日本建築の背景と特質	第12回	近現代建築史 その6 概要 近代建築の四大巨匠 その2
第13回	日本建築史 その2 概要 繩文・弥生と初期の神社建築	第13回	近現代建築史 その7 概要 日本の近代建築
第14回	日本建築史 その3 概要 仏教建築の伝来と和様の発生	第14回	近現代建築史 その8 概要 大戦後のモダニズムから現代まで
第15回	日本建築史 その4 概要 平城京・平安京と寝殿造	第15回	近現代建築史 その9 概要 都市計画史と総合復習

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202203

科目名	建築環境工学			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	荒木 伸輔		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

建築環境の基本的な要素を理解し、科学的に快適な室内空間を計画する為に必要な知識と思考力を養うことを目指す。ここで、要素とは、太陽と関連する熱・空気・光・音の4環境である。

教科書・参考書名 初学者の建築講座 建築環境工学 [第4版]

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	70%	○	○			
小テスト・課題	20%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	建築環境工学ガイド	第1回	前期試験の解説
概要	建築環境工学の役割、内容について	概要	日照・日射環境、光環境、色彩環境、空気環境
第2回	日照・日射環境①	第2回	熱環境①
概要	太陽位置	概要	熱の流れの基礎
第3回	日照・日射環境②	第3回	熱環境②
概要	日照と日影	概要	熱貫流と日射
第4回	日照・日射環境③	第4回	熱環境③
概要	日射	概要	建物全体の熱特性
第5回	光環境①	第5回	湿気環境①
概要	測光量、明視環境の確保	概要	湿り空気と露点温度
第6回	光環境②	第6回	湿気環境②
概要	採光①	概要	結露
第7回	光環境③	第7回	温熱環境①
概要	採光②	概要	人体周りの熱収支
第8回	光環境④	第8回	温熱環境②
概要	人工照明	概要	温熱感覚指標
第9回	色彩環境①	第9回	都市・地球環境①
概要	色彩の表し方	概要	外界気象
第10回	色彩環境②	第10回	都市・地球環境②
概要	色彩計画	概要	都市環境と地球環境
第11回	空気環境①	第11回	音環境①
概要	室内空気環境	概要	音の性質
第12回	空気環境②	第12回	音環境②
概要	自然換気の力学	概要	騒音評価と遮音効果
第13回	空気環境③	第13回	音環境③
概要	機械換気の計画	概要	音響計画
第14回	前期のまとめ①	第14回	後期のまとめ①
概要	日照・日射環境、光環境、色彩環境、空気環境	概要	熱環境、湿気環境、温熱環境、都市・地球環境、音環境
第15回	前期のまとめ②	第15回	後期のまとめ②
概要	日照・日射環境、光環境、色彩環境、空気環境	概要	熱環境、湿気環境、温熱環境、都市・地球環境、音環境

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202204

科目名	建築設備工学			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	中川 慶一郎		

授業の目標・ねらい

建築設備の全体概要を把握し、建築と設備の関連性について理解するとともに、建築技術者として必要な建築設備に関する知識を修得する。

教科書・参考書名 初学者の建築講座 建築設備 [第4版]

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト	20%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	建築設備概要	第1回	消火設備 I
概要	導入、建築設備の種類と特徴	概要	消火設備の基本事項
第2回	給水設備 I	第2回	消火設備 II
概要	給水方式の種類と特徴	概要	屋内消火栓設備と屋外消火栓設備
第3回	給水設備 II	第3回	消火設備 III
概要	給水量の算定と給水圧力	概要	スプリンクラ設備とその他の消火設備
第4回	給水設備 III	第4回	空気調和設備 I
概要	給水配管・給水器具・汚染防止対策	概要	空気調和設備の種類と特徴
第5回	給水設備 IV	第5回	空気調和設備 II
概要	受水タンク・高置タンクの容量	概要	暖房負荷計算 1
第6回	給水設備 V	第6回	空気調和設備 III
概要	高置タンクの設置高さ	概要	暖房負荷計算 2
第7回	給水設備 VI	第7回	空気調和設備 IV
概要	給水管の管径計算①	概要	冷房負荷計算 1
第8回	給水設備 VII	第8回	空気調和設備 V
概要	給水管の管径計算②	概要	冷房負荷計算 2
第9回	排水・通気設備 I	第9回	空気調和設備 VI
概要	排水の種類と排水方式	概要	空気線図 1
第10回	排水・通気設備 II	第10回	空気調和設備 VII
概要	トラップの機能・破封および防止対策	概要	空気線図 2
第11回	排水・通気設備 III	第11回	空気調和設備 VIII
概要	各種排水配管	概要	空調設備の種類と特徴 1
第12回	排水・通気設備 IV	第12回	空気調和設備 IX
概要	通気方式の種類と特徴	概要	空調設備の種類と特徴 2
第13回	排水・通気設備 V	第13回	空気調和設備 X
概要	雨水排水設備と管径計算	概要	熱源方式の種類と特徴
第14回	排水・通気設備 VI	第14回	空気調和設備 XI
概要	排水管の管径計算	概要	熱搬送設備と空気調和用機器
第15回	排水・通気設備 VII	第15回	電気設備とその他の設備
概要	衛生器具設備の種類と特徴	概要	電気設備の種類と特徴とその他の設備

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202304

科目名	建築構造力学・同演習			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	6単位	担当教員	廣瀬 一樹・樋本 拓		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築に関する諸学の根幹の科目として位置づける。構造力学は、構造物に外力が作用した時にどのような「力」と「変形」が生じるのかを学ぶもので、建築物が構造的に安全かどうかを検討することにつながる。授業により建築物に生じる「力の流れ」を理解し、部材内部に生じる力を求める能力を養うことができる。

教科書・参考書名 基礎講座 建築構造力学

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
前期および後期定期試験	50%	○	○			
中間テスト	25%	○	○			
課題提出	15%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画							
前 期				後 期			
第1回	基本計算①			第1回	前期の復習		
概要	力と長さの単位・連立方程式			概要	前期試験を振り返る		
第2回	基本計算②			第2回	断面の性質①		
概要	構造形式(静定と不静定)・部材と力のモデル化・力のモーメント			概要	図芯と断面一次モーメント		
第3回	構造力学の基礎①			第3回	断面の性質②		
概要	力の合成・分解(力のベクトル)			概要	断面二次モーメント・断面係数		
第4回	構造力学の基礎②			第4回	材料力学(力と変形)		
概要	力のつりあい条件(バリニオンの定理)			概要	応力度・ひずみ度・弾性係数(弾性・塑性・フックの法則)		
第5回	反力計算①			第5回	梁の断面設計①		
概要	支点のモデル化・単純梁と片持梁の反力計算			概要	曲げ応力度と許容値		
第6回	反力計算②			第6回	梁の断面設計②		
概要	梁・ラーメンの反力計算			概要	せん断応力度と許容値		
第7回	中間テスト			第7回	中間テスト		
概要	梁・ラーメンの反力計算			概要	断面の性質・断面設計		
第8回	応力計算①			第8回	柱の断面設計①		
概要	単純梁系ラーメンの応力(N・Q・M)計算			概要	断面二次半径・細長比・座屈		
第9回	応力計算②			第9回	柱の断面設計②		
概要	片持梁系ラーメンの応力(N・Q・M)計算			概要	圧縮応力度・座屈応力度		
第10回	応力計算③			第10回	部材の変形		
概要	ゲルバー梁の応力(N・Q・M)計算			概要	たわみ角・たわみ(モールの定理)		
第11回	応力計算④			第11回	梁の断面設計③		
概要	3ヒンジラーメンの応力(N・Q・M)計算			概要	たわみと許容値		
第12回	トラスの構造形式と応力解析			第12回	不静定構造物の応力計算①		
概要	トラスの種類と三角関数			概要	たわみ角による方法		
第13回	トラスの解法①			第13回	不静定構造物の応力計算②		
概要	節点法			概要	たわみによる方法		
第14回	トラスの解法②			第14回	まとめ		
概要	切断法			概要	演習・建築士課題		
第15回	総合演習			第15回	総合演習		
概要	試験範囲のプレテストの実施・自己採点			概要	試験範囲のプレテストの実施・自己採点		

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202305

科目名	建築一般構造学			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	見邨 佳朗・阪本 剛史		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築物の構造法の基礎知識を理解し、科学的、合理的、経済的に計画し設計、施工が正しく行える能力を修得する。

教科書・参考書名 初学者の建築講座 建築構造 [第3版]

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○				
小テスト	20%	○				
課題	10%	○				
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	建築構造と構造材料	第1回	RC造の計画
概要	各種構造法・建築構造法と材料	概要	概説材料(セメント・骨材・鉄筋)
第2回	構造の概要・要点	第2回	RC造の原理・特徴
概要	建築の要点を知る	概要	鉄筋とコンクリートの働き
第3回	外装の計画	第3回	鉄筋の継手、付着、被り
概要	建築の要点を知る	概要	最小長さ・厚さ・基礎の種類
第4回	断面の設計	第4回	主体の構造計画・柱
概要	各種の高さ	概要	柱の構造
第5回	木造の構法	第5回	梁
概要	木造の各構法	概要	はりの構造
第6回	軸組構法	第6回	床スラブ・壁・階段
概要	基礎・軸組・土台	概要	スラブの構造・壁・階段の構造
第7回	柱	第7回	RC造の総括
概要	柱・筋かいの要点	概要	
第8回	構造耐力上必要な軸組	第8回	S造の計画
概要	耐力壁・法令による壁量	概要	S造の概説、法令抜粋、鋼材
第9回	枠組壁工法	第9回	接合・骨組
概要	枠組壁工法の要点	概要	接合と構造形式
第10回	小屋組	第10回	主体の構造
概要	小屋組の構造	概要	基礎・柱脚・柱の構造説明
第11回	階段・床	第11回	梁・床
概要	階段の構造・床の構造	概要	はりと床の構造
第12回	外部仕上・屋根	第12回	プレース・小屋組・耐火被膜・階段
概要	屋根下地・各仕上	概要	種類・構造
第13回	天井・内部壁仕上・床仕上	第13回	SRC構造
概要	天井の種類と仕上・壁・床の仕上	概要	SRC造の概要
第14回	床の間まわり	第14回	補強コンクリートブロック構造
概要	床まわりの構造	概要	CB造の構造
第15回	総合演習・耐力壁のチェックおよび計算	第15回	プレキャストコンクリート構造
概要	壁量計算	概要	PCコンクリート構造の概要

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202306

科目名	建築材料学			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	辰井 菜緒		

授業の目標・ねらい

各建築材料の製造方法・性質・種類・特徴、各材料に付随する規格・用途・建築構法との関連、コスト、近年の動向、新素材などを理解。材料を適材適所に選択・応用することができる能力を養う。

教科書・参考書名 | 改訂版 図説 やさしい建築材料

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○				
小テスト	20%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢						
その他(積極性)	20%					○
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	建築材料の基礎	第1回	セラミックス
概要	建築材料の分類・発達、材料総合、木材の一般的性質・成長	概要	タイルの種類と特徴、製品と用途
第2回	木材	第2回	セラミックス
概要	木材の分類・心材・辺材、木取りと木理・製材・方向性について	概要	レンガ・瓦の種類と特徴、製品と用途
第3回	木材	第3回	ガラス
概要	木材の区分・欠点について	概要	ガラスの種類と特徴
第4回	木材	第4回	ガラス
概要	木材の乾燥の重要性・特徴、水質分とその変形・強さについて	概要	ガラス製品と用途
第5回	木材	第5回	石材
概要	木材の腐朽・虫害・燃焼の特徴と対策について	概要	石材の種類と特徴
第6回	木材	第6回	石材
概要	木材加工品の製造方法・製品内容・使用法について	概要	石材製品と用途
第7回	中間考査	第7回	中間考査
概要	木材に関する総合考査	概要	セラミックス・ガラス・石材に関する総合考査
第8回	セメント・コンクリート	第8回	左官材料・ボード類
概要	セメント・コンクリートの性質、種類・主要科学成分・製法について	概要	左官・吹付材料
第9回	セメント・コンクリート	第9回	左官材料・ボード類
概要	セメントの化学変化の状態・比重・粉末度、凝結・安定性について	概要	石灰・石膏材料
第10回	セメント・コンクリート	第10回	その他の材料
概要	セメントの強さ、コンクリート用の水・骨材の望ましい性質について	概要	プラスティック・塗料材料
第11回	セメント・コンクリート	第11回	その他の材料
概要	コンクリートの水セメント比・ワーカビリティ、強度・養生について	概要	接着材料
第12回	金属材料	第12回	部位別・性能別材料
概要	金属の全体説明と鉄類の分類、化学成分・製法など	概要	床・天井材料
第13回	金属材料	第13回	部位別・性能別材料
概要	炭素鋼の性質・熱処理・腐食など	概要	防水材料
第14回	金属材料	第14回	部位別・性能別材料
概要	非鉄金属の種類・特徴・用途について	概要	耐火・断熱・防音・吸音材料
第15回	セメント・コンクリート・金属	第15回	左官材料・ボード類、その他材料、部位別・性能別材料
概要	総合演習	概要	総合演習

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202308

科目名	建築施工			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	井上 嘉亮		
				実務経験および関連資格	施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。 1級建築施工管理技士		

授業の目標・ねらい

各種建築工事を正しく行うための品質、工程、安全、原価、環境管理についての知識や、他の工事との関連、経験的、慣習的な事項について修得する。

教科書・参考書名	施工がわかる イラスト建築生産入門
----------	-------------------

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○				
小テスト	20%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢						
その他()	20%					○
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	建築生産のしくみ、流れ	第1回	鉄骨工事
概要	建築生産の概要、それぞれの役割について	概要	構造の特徴、材料、施工順序について
第2回	工事管理	第2回	鉄骨工事
概要	品質管理、原価管理、工程管理について	概要	工場加工、工場製作等について
第3回	工事管理	第3回	鉄骨工事
概要	安全管理、環境管理について	概要	鉄骨建方方法、ボルト接合、順序、溶接について
第4回	準備工事	第4回	仕上工事:防水工事
概要	事前調査、地盤調査、工事測量について	概要	メンブレン防水の種類、工法などについて
第5回	仮設工事	第5回	仕上工事:防水・屋根工事
概要	仮設工事の分類、仮囲い、門扉、仮設建物、足場他について	概要	シーリング防水、屋根工事について
第6回	土工事	第6回	仕上工事:カーテンウォール工事
概要	土留工事について	概要	カーテンウォールの種類、支持方式などについて
第7回	地業工事	第7回	仕上工事:左官工事
概要	掘削、排水工法の種類、地盤の安定、建設機械等について	概要	左官工事の種類、施工手順について
第8回	地業工事	第8回	仕上工事:石・タイル工事
概要	基礎、杭の分類、地業について	概要	石・タイル工事について
第9回	地業工事	第9回	仕上工事:建具・ガラス工事
概要	既製杭と場所打ち杭の種類と特徴他	概要	建具の種類、取付方法、ガラスの種類、取付方法について
第10回	建物の構造上の種類、特徴	第10回	仕上工事:塗装工事
概要	材料と各部位構成、特徴など	概要	塗装の種類、施工方法について
第11回	鉄筋工事	第11回	仕上工事:金属工事
概要	材料と各部位構成、かぶり厚さ、鉄筋間隔	概要	製作金物、軽量鉄骨天井下地、軽量鉄骨壁下地について
第12回	鉄筋工事	第12回	仕上工事:内装工事
概要	継手、定着、かぶり、配筋検査について	概要	床、壁、天井仕上について
第13回	コンクリート工事	第13回	設備工事
概要	型枠の種類、型枠支保工等について	概要	電気、空気調和、給排水衛生、昇降機、防災設備について
第14回	コンクリート工事	第14回	外構、その他工事
概要	種類、材料、コンクリート打設準備	概要	外構、舗装、植栽、その他工事について
第15回	コンクリート工事	第15回	検査、引渡し、維持、保全、改修工事
概要	打設計画、受入検査、打設、養生等について	概要	竣工から引渡し、維持、改修工事について

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202205

科目名	建築積算学・同演習			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	3単位	担当教員	見邨 佳朗・平田義典		
				実務経験および関連資格	積算業務の経験を有する教員による講義や演習。一級建築士設備設計一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築生産の計画、設計、施工の各部門において、建築コストの経済性を探究し、数量積算を修得する。建築数量積算基準に従って、建築工事における工事費が、どのようにして算出するのかを把握する。

教科書・参考書名	積算協会のPCMシリーズⅢ 建築積算						
----------	--------------------	--	--	--	--	--	--

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト						
課題	25%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	25%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	積算とは	第1回	コンクリート・型枠工事
概要	建築積算の目的	概要	前期おさらい、階段
第2回	工事費の構成	第2回	鉄筋工事
概要	内訳書の内容を概略的に把握	概要	共通事項について
第3回	単価の種類と計算「積算方式」	第3回	鉄筋工事
概要	単価はどのようにして決まるか	概要	基礎・基礎梁
第4回	数量の種類と計算上の約束	第4回	鉄筋工事
概要	積算基準を知る	概要	基礎・基礎梁演習問題
第5回	土工事	第5回	鉄筋工事
概要	根切数量、根切計画図	概要	柱
第6回	土工事	第6回	鉄筋工事
概要	残土数量、埋戻数量	概要	梁
第7回	土工事	第7回	鉄筋工事
概要	数量積算演習問題	概要	床版、壁版、その他
第8回	コンクリート・型枠工事	第8回	鉄筋工事
概要	共通事項について	概要	柱、梁、床版演習問題
第9回	コンクリート・型枠工事	第9回	鉄骨工事
概要	基礎・基礎梁の拾い出し	概要	共通事項について
第10回	コンクリート・型枠工事	第10回	
概要	下部躯体演習問題	概要	骨組、接合法の解説
第11回	コンクリート・型枠工事	第11回	
概要	柱部分	概要	節柱(主材)節柱(溶接)
第12回	コンクリート・型枠工事	第12回	各種仕上工事積算の概略
概要	梁部分	概要	
第13回	コンクリート・型枠工事	第13回	各種仕上工事積算
概要	床版、壁版、その他	概要	演習問題
第14回	コンクリート・型枠工事	第14回	コンクリート・型枠工事、鉄筋工事
概要	上部躯体演習	概要	総合演習
第15回	土工事、コンクリート・型枠工事	第15回	鉄骨工事、各種仕上工事
概要	総合演習	概要	総合演習

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202206

科目名	建築法規			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	中川 慶一郎・福山 亮介		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建築基準法及び関係法令の体系及び精神を理解し、建築物の安全に関すること、都市環境の保護と土地利用の調整に関すること、技術者として法令遵守の重要性など基礎的知識を修得する。

教科書・参考書名 井上建築関係法令集

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○				
小テスト	20%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	法規の体系	第1回	火災防止に関する規定-1
概要	憲法・法律・政令・省令・条例・細則の関係・法令集の附録作成	概要	建築基準法と消防法・火災拡大防止対策
第2回	建築法規の使命	第2回	火災防止に関する規定-2
概要	意義・効果・建築と法規のかかわり	概要	準不燃材料・耐火構造・耐火建築物・準耐火建築物
第3回	用語の定義-1	第3回	避難に関する規定-1
概要	法令用語(以上・以下・及び・並びに・若しくは等)	概要	内装制限・防火区画・延焼防止対策
第4回	用語の定義-2	第4回	避難に関する規定-2
概要	建築基準法の用語(建築物・特殊建築物・居室など)	概要	避難安全対策・2直階段・重複距離・防火地域
第5回	用語の定義-3	第5回	火災・避難に関する問題の演習
概要	建築・主要構造部・建築面積・道路の定義など	概要	二級建築士問題の過去問題を解く
第6回	用語の定義-4	第6回	居室の採光及び換気
概要	高さと地盤面・階数・地階の定義・各種緩和措置など	概要	採光有効面積・採光補正係数・換気設備
第7回	用語の定義に関する問題の演習	第7回	居室の天井及び床下換気
概要	二級建築士問題の過去問題を解く	概要	天井高の計算・床高と防湿方法・遮音
第8回	建築工事遂行の手続	第8回	階段の構造
概要	確認申請・建築工事届・中間検査申請など	概要	階段の寸法・踊り場の設置・廊下の幅
第9回	法施行に関する行政事務	第9回	居室・階段の構造に関する問題の演習
概要	特定行政庁・建築主事・指定確認検査機関の関係	概要	二級建築士問題の過去問題を解く
第10回	手続きに関する問題の演習	第10回	高さ制限
概要	二級建築士問題の過去問題を解く	概要	高さ制限・日影規制の計算
第11回	用途地域-1	第11回	高さ制限に関する問題の演習
概要	各用途地域に建築可能・不可能なもの	概要	二級建築士問題の過去問題を解く
第12回	用途地域-2	第12回	建築士法
概要	用途地域に応じた容積率・建蔽率の計算	概要	建築士の免許・事務所・業務について
第13回	用途地域に関する問題の演習	第13回	建築業法・都市計画法
概要	二級建築士問題の過去問題を解く	概要	建設業の区分と開発許可
第14回	構造強度に関する規定	第14回	高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律等
概要	各構造種別ごとの規定(木造・RC造・S造)	概要	住宅の品質確保促進法・耐震改修促進法・省エネ法
第15回	総合演習	第15回	総合演習
概要	試験範囲のプレテストを実施・自己採点	概要	試験範囲のプレテストを実施・自己採点

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202309

科目名	IT・BIM基礎・同演習			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	5単位	担当教員	辰井 菜緒・川嶋 真二・小倉 全勝		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

OFFICE365にて、レポートやスライドを作成するために必要な活用技能を習得し、課題に応じたレポートやスライド作成ができる。
AUTOCADで簡単な建物の作図ができる。Revitとレンダリングソフトの基本を理解する。

教科書・参考書名 7日でおぼえるAutodesk Revit[Revit & Revit LT 2022/2021対応]

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	10%	○				
小テスト						
課題	80%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ガイダンス	第1回	ガイダンス
概要	PCの基本操作とGoogle class roomの使用方法を覚える	概要	BIMとは何かについて理解する
第2回	OFFICE課題1	第2回	3次元モデリングの基礎1
概要	POWER POINTの基本操作を理解し、自己紹介スライドを作成する	概要	BIMと2次元CADの違いを実際にソフトを操作して理解する
第3回	OFFICE課題2	第3回	3次元モデリングの基礎2
概要	自己紹介をプロジェクターを使用し発表する	概要	Revitの代表的なコマンドの操作を習得する(基本操作)
第4回	OFFICE課題3	第4回	3次元モデリングの基礎3
概要	Wordを使用して簡単な文書と表を作成する	概要	Revitの代表的なコマンドの操作を習得する(基本操作)
第5回	OFFICE課題4	第5回	3次元モデリングの作成1
概要	EXCELを使用して簡単な計算式のある表を作成する	概要	Revitを使用した簡単な建物を作成する
第6回	CADの基本操作1	第6回	3次元モデリングの作成2
概要	AUTOCADのコマンドを習得する	概要	Revitを使用した簡単な建物を作成する
第7回	CADの基本操作2	第7回	3次元モデリングの作成3
概要	AUTOCADのコマンドの基本練習問題に取り組む1	概要	Revitを使用した簡単な建物を作成する
第8回	CADの基本操作3	第8回	BIMデータの図面化
概要	AUTOCADのコマンドの基本練習問題に取り組む2	概要	Revitdeモデリングしたデータを図面枠に配置し、印刷する
第9回	CADの作図1	第9回	CGベースの作成1
概要	AUTOCADで簡単なRC造住宅の平面図を作成する	概要	レンダリングソフトを使用してCG静止画を作成する
第10回	CADの作図2	第10回	CG動画の作成1
概要	AUTOCADで簡単なRC造住宅の平面図を作成する	概要	レンダリングソフトでCG動画を作成する
第11回	CADの作図3	第11回	3次元モデリングの作成3
概要	AUTOCADで簡単なRC造住宅の平面図を作成する	概要	Revitを使用し、実在する建物をモデリングする
第12回	CADの作図4	第12回	3次元モデリングの作成4
概要	AUTOCADで簡単なRC造住宅の断面図を作成する	概要	Revitを使用し、実在する建物をモデリングする
第13回	CADの作図5	第13回	3次元モデリングの作成5
概要	AUTOCADで簡単なRC造住宅の断面図を作成する	概要	Revitを使用し、実在する建物をモデリングする
第14回	CADの作図6	第14回	CGベースの作成2
概要	AUTOCADで簡単なRC造住宅の立面図を作成する	概要	レンダリングソフトを使用してCG静止画を作成する
第15回	CADの作図7	第15回	CG動画の作成2
概要	AUTOCADで作成した図面を印刷する方法を取得する(PDFデータ作成)	概要	レンダリングソフトでCG動画を作成する

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202207

科目名	CG演習		対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	5単位	担当教員	辰井菜緒・岡部 優季・鈴木佑輔	
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士	

授業の目標・ねらい

BIMソフトと3Dモデリングソフトの操作を習得し、2Dから3Dを作り上げる力を養う。自分で設計した建築を3D化し、レンダリングソフトを使用したCGベースや3D動画の作成と編集ができるようになる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	10%	○	○		○	
小テスト						
課題	50%	○	○		○	
プレゼンテーション	20%	○		○	○	
グループワーク	10%	○			○	○
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ガイダンス	第1回	3次元モデルの作成7
概要	講義の進め方や、使用ソフトに関する概要説明を行う。	概要	小学校のモデリング1
第2回	3次元モデリングソフトの習得1	第2回	3次元モデルの作成8
概要	Rhinocerosの基本操作を習得する	概要	小学校のモデリング2
第3回	3次元モデリングソフトの習得2	第3回	3次元モデルの作成7
概要	Rhinocerosの基本操作を習得する	概要	小学校のモデリング3
第4回	Illustratorの基本操作の復習	第4回	CG/ベース・CG動画作成2
概要	作成した3Dモデルを使用し、簡単なプレゼンボードを作成する	概要	小学校モデルをレンダリングソフトを使用し、3Dベース・動画を作成する
第5回	レンダリングソフトの習得1	第5回	CG/ベース・CG動画の加工2
概要	Twinmotion、Lumion等の基本操作を習得する	概要	Photoshop、Premiere Proを使用し、ベースと動画のブラッシュアップを学ぶ
第6回	3次元モデルの作成1	第6回	プレゼンボードの作成2
概要	Rhinocerosを使用し、製図の課題をもとにモデリングを行う	概要	モデリングソフトとAdobeソフトを駆使し、プレゼンボードを作成する
第7回	3次元モデルの作成2	第7回	グループディスカッション
概要	Rhinocerosを使用し、製図の課題をもとにモデリングを行う	概要	小グループでの講評会(ディスカッション)を行う
第8回	3次元モデルの作成3	第8回	CG/ベース・動画作成の応用1
概要	Rhinocerosを使用し、製図の課題をもとにモデリングを行う	概要	最終課題に向けてのさらなるスキルアップ
第9回	CGベース・CG動画作成	第9回	CG/ベース・動画作成の応用2
概要	作成した3Dモデルを使用し、レンダリングソフトで3Dベース・動画を作成する	概要	最終課題に向けてのさらなるスキルアップ
第10回	CG/ベース・CG動画の加工	第10回	自由課題1
概要	Photoshop、Premiere Proを使用し、ベースと動画のブラッシュアップを学ぶ	概要	設計地、用途等を各自で決定し、作成する
第11回	プレゼンボードの作成1	第11回	自由課題2
概要	モデリングソフトとAdobeソフトを駆使し、プレゼンボードを作成する	概要	設計地、用途等を各自で決定し、作成する
第12回	プレゼンテーション1	第12回	自由課題3
概要	作成したプレゼンボードを使用し、プレゼンの仕方を学習する	概要	設計地、用途等を各自で決定し、作成する
第13回	3次元モデルの作成4(プロダクト)	第13回	自由課題4
概要	Rhinocerosを使用し、プロダクト作成の基本を学習する	概要	設計地、用途等を各自で決定し、作成する
第14回	3次元モデルの作成5(プロダクト)	第14回	グループディスカッション
概要	Rhinocerosを使用し、プロダクトをデザインする	概要	小グループでの講評会(ディスカッション)を行う
第15回	3次元モデルの作成6(プロダクト)	第15回	プレゼンテーション2
概要	Rhinocerosを使用し、プロダクトをデザインする	概要	完成した作品をプロジェクトを使用しプレゼンテーションする

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202208

科目名	卒業設計			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	辰井菜緒・中川慶一郎		

授業の目標・ねらい

本校において2年間に各科目等で学習した「考えるちから」「つくるちから」「伝えるちから」を応用し、総合的にひとつの建築物を創作することによって、2年間の学習の総仕上げとする。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○	○	○	○
プレゼンテーション	30%				○	
グループワーク						
授業での姿勢						
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	学生は次の3つのコースから一つ選択すること	第1回	
概要		概要	
第2回	1、CG意匠コース	第2回	
概要	構造:自由 用途:自由	概要	
第3回	2、インテリアデザインコース	第3回	
概要		概要	
第4回	3. 景観・まちづくりコース	第4回	
概要	構造:自由 用途:自由	概要	
第5回		第5回	
概要		概要	
第6回		第6回	
概要		概要	
第7回		第7回	
概要		概要	
第8回		第8回	
概要		概要	
第9回		第9回	
概要		概要	
第10回		第10回	
概要		概要	
第11回		第11回	
概要		概要	
第12回		第12回	
概要		概要	
第13回		第13回	
概要		概要	
第14回		第14回	
概要		概要	
第15回		第15回	
概要		概要	

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202209

科目名	住宅設計演習			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	辰井菜緒・福山 亮介		

授業の目標・ねらい

自己のデザイン意図を表現するための技術と、それを応用できる能力を習得する

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	50%	○		○	○	
プレゼンテーション	30%				○	
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回		第1回	科目的説明
概要		概要	プレゼンテーションに対する意識説明
第2回		第2回	実際の材料見本帳などを説明
概要		概要	より多くの素材の表現テクニックを認識させる
第3回		第3回	材料見本帳の説明
概要		概要	プレゼンテーションによる平面の表現方法①
第4回		第4回	平面表現技法①
概要		概要	プレゼンテーションによる平面の表現方法①
第5回		第5回	平面表現技法②
概要		概要	プレゼンテーションによる平面の表現方法②
第6回		第6回	平面表現技法③
概要		概要	プレゼンテーションによる平面の表現方法③
第7回		第7回	立面表現技法①
概要		概要	プレゼンテーションによる立面の表現方法①
第8回		第8回	立面表現技法②
概要		概要	プレゼンテーションによる立面の表現方法②
第9回		第9回	立面表現技法③
概要		概要	プレゼンテーションによる立面の表現方法③
第10回		第10回	断面表現技法①
概要		概要	プレゼンテーションによる断面の表現方法①
第11回		第11回	断面表現技法②
概要		概要	プレゼンテーションによる断面の表現方法②
第12回		第12回	断面表現技法③
概要		概要	プレゼンテーションによる断面の表現方法③
第13回		第13回	鉛筆仕上げの表現法①
概要		概要	プレゼンテーションによる仕上げの表現方法①
第14回		第14回	鉛筆仕上げの表現法②
概要		概要	プレゼンテーションによる仕上げの表現方法②
第15回		第15回	絵の具・マーカー仕上げの表現法
概要		概要	プレゼンテーションによる仕上げの表現方法③

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202310

科目名	デザインリテラシー I			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	辰井 菜緒・岡部 優季・成願大志		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

自己のデザイン意図を表現するための基礎技術と、制作能力を習得する

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	10%					
小テスト						
課題	50%	○		○	○	
プレゼンテーション	30%				○	
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回		第1回	ガイダンス
概要		概要	プレゼンテーション I の概要・目的説明
第2回		第2回	Adobeソフトの基礎知識1
概要		概要	Illustratorの基本操作
第3回		第3回	平面表現技法1
概要		概要	Illustratorを使った平面図の表現方法1
第4回		第4回	平面表現技法2
概要		概要	Illustratorを使った平面図の表現方法2
第5回		第5回	断面表現技法1
概要		概要	Illustratorを使った断面の表現方法1
第6回		第6回	断面表現技法2
概要		概要	Illustratorを使った断面の表現方法2
第7回		第7回	立面表現技法
概要		概要	Illustratorを使った立面の表現方法
第8回		第8回	Adobeソフトの基礎知識2
概要		概要	Photoshopの基本操作
第9回		第9回	画像加工技法1
概要		概要	Photoshopを使った画像の加工1
第10回		第10回	画像加工技法2
概要		概要	Photoshopを使った画像の加工2
第11回		第11回	プレゼンボードの制作概説
概要		概要	実務でのプレゼンボード作成効果について
第12回		第12回	プレゼンボードの制作演習1
概要		概要	プレゼンボードの作成1
第13回		第13回	プレゼンボードの制作演習2
概要		概要	プレゼンボードの作成2
第14回		第14回	プレゼンボードの制作演習3
概要		概要	プレゼンボードの作成3
第15回		第15回	プレゼンボードの制作演習4
概要		概要	プレゼンボードの作成4

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202210

科目名	デザインリテラシーⅡ			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	辰井 菜緒・岡部 優季・成願大志		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

プレゼンテーションの基本を学び、表現力と創造力(制作技術も含め)を高める。「伝わる」技術を磨く。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	10%	○	○	○	○	
小テスト						
課題	50%	○	○	○	○	
プレゼンテーション	30%		○		○	
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ガイダンス	第1回	
概要	プレゼンテーションⅡの概要・目的	概要	
第2回	使用ソフトの復習	第2回	
概要	IllustratorやCADなどのスキル確認	概要	
第3回	模型作成1	第3回	
概要	50mmキューブの作成	概要	
第4回	模型作成2	第4回	
概要	敷地作成とデコレーション	概要	
第5回	ポートフォリオの作成1	第5回	
概要	作成した模型を使用し、ポートフォリオを作成する	概要	
第6回	模型作成3	第6回	
概要	狭小住宅の作成1	概要	
第7回	模型作成4	第7回	
概要	狭小住宅の作成2	概要	
第8回	プレゼンの基本とグループディスカッション	第8回	
概要	プレゼン基本を学び、各自作成した模型の講評会を行う	概要	
第9回	ポートフォリオの作成2	第9回	
概要	作成した狭小住宅模型を使用し、ポートフォリオを作成する	概要	
第10回	動画作成の基本	第10回	
概要	レンダリングソフトでの動画作成を学ぶ	概要	
第11回	動画編集の基本	第11回	
概要	Premiere Proを使用した動画編集を学ぶ	概要	
第12回	自由課題・動画作成1	第12回	
概要	各自でテーマを決定し、学んできたソフトを駆使した作品を作る	概要	
第13回	自由課題・動画作成2	第13回	
概要	各自でテーマを決定し、学んできたソフトを駆使した作品を作る	概要	
第14回	自由課題・動画作成2	第14回	
概要	各自でテーマを決定し、学んできたソフトを駆使した作品を作る	概要	
第15回	プレゼンテーション・講評会	第15回	
概要	クラス内のプレゼンと講評会を行う	概要	

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202210

科目名	プレゼンテーションⅡ			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	辰井 菜緒・岡部 優季・成願大志		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

プレゼンテーションの基本を学び、表現力と創造力(制作技術も含め)を高める。「伝わる」技術を磨く。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	10%	○	○	○	○	
小テスト						
課題	50%	○	○	○	○	
プレゼンテーション	30%		○		○	
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ガイダンス	第1回	
概要	プレゼンテーションⅡの概要・目的	概要	
第2回	使用ソフトの復習	第2回	
概要	IllustratorやCADなどのスキル確認	概要	
第3回	模型作成1	第3回	
概要	50mmキューブの作成	概要	
第4回	模型作成2	第4回	
概要	敷地作成とデコレーション	概要	
第5回	ポートフォリオの作成1	第5回	
概要	作成した模型を使用し、ポートフォリオを作成する	概要	
第6回	模型作成3	第6回	
概要	狭小住宅の作成1	概要	
第7回	模型作成4	第7回	
概要	狭小住宅の作成2	概要	
第8回	プレゼンの基本とグループディスカッション	第8回	
概要	プレゼン基本を学び、各自作成した模型の講評会を行う	概要	
第9回	ポートフォリオの作成2	第9回	
概要	作成した狭小住宅模型を使用し、ポートフォリオを作成する	概要	
第10回	動画作成の基本	第10回	
概要	レンダリングソフトでの動画作成を学ぶ	概要	
第11回	動画編集の基本	第11回	
概要	Premiere Proを使用した動画編集を学ぶ	概要	
第12回	自由課題・動画作成1	第12回	
概要	各自でテーマを決定し、学んできたソフトを駆使した作品を作る	概要	
第13回	自由課題・動画作成2	第13回	
概要	各自でテーマを決定し、学んできたソフトを駆使した作品を作る	概要	
第14回	自由課題・動画作成2	第14回	
概要	各自でテーマを決定し、学んできたソフトを駆使した作品を作る	概要	
第15回	プレゼンテーション・講評会	第15回	
概要	クラス内のプレゼンと講評会を行う	概要	

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202311

科目名	インテリア			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	3単位	担当教員	角野 峰生		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 二級建築士、インテリアコーディネーター、インテリアプランナー		

授業の目標・ねらい

住宅や店舗などの内部空間に関するデザインを考え、考案ができる力をつけ、基礎的知識を理解する

教科書・参考書名	プリント
----------	------

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	60%	○	○	○	○	
プレゼンテーション	20%				○	
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	インテリアデザイン・基礎	第1回	
概要	インテリアデザインの概要について(資格・業務)	概要	
第2回	インテリアデザイン・基礎	第2回	
概要	製品デザインの製図(三面図+断面図)	概要	
第3回	インテリアデザイン・基礎	第3回	
概要	人間工学の基礎を学ぶ(人体寸法から物の寸法へ)	概要	
第4回	インテリアデザイン・基礎	第4回	
概要	ホテル客室の平面図作成	概要	
第5回	インテリアデザイン・基礎	第5回	
概要	ホテル客室の平面図作成	概要	
第6回	インテリアデザイン・基礎	第6回	
概要	ホテル客室の平面図作成	概要	
第7回	インテリアデザイン・基礎	第7回	
概要	ホテル客室の展開図作成	概要	
第8回	インテリアデザイン・基礎	第8回	
概要	ホテル客室の展開図作成	概要	
第9回	インテリアデザイン・基礎	第9回	
概要	ホテル客室の図面を使って起こし絵への展開	概要	
第10回	インテリアデザイン・基礎	第10回	
概要	ホテル客室の図面を使って起こし絵への展開	概要	
第11回	インテリアデザイン・応用	第11回	
概要	透視図の作成要領について学ぶ	概要	
第12回	インテリアデザイン・応用	第12回	
概要	ホテル客室の図面を透視図を作成する	概要	
第13回	インテリアデザイン・応用	第13回	
概要	ホテル客室の図面を透視図を作成する	概要	
第14回	インテリアデザイン・応用	第14回	
概要	ホテル客室のプレゼンテーションボード作成	概要	
第15回	インテリアデザイン・応用	第15回	
概要	ホテル客室のプレゼンテーションボード完成	概要	

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202211

科目名	インテリアコーディネートⅠ			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	田中 嘉代		

授業の目標・ねらい

インテリアに関する基礎的知識を理解する。

教科書・参考書名	プリント
----------	------

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	60%	○		○		
プレゼンテーション	20%				○	
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	インテリアコーディネーターについて	第1回	
概要	資格試験について 詳細 対策等	概要	
第2回	ウインドートリートメント・カーテンスタイル	第2回	
概要	付属器具 採寸方法 スタイルの種類	概要	
第3回	壁紙について…傾向 種類 素材	第3回	
概要	接着剤 積算	概要	
第4回	家具について…提案時の注意点 発注方法	第4回	
概要	素材 質 扱い方	概要	
第5回	照明について…カタログから傾向 デザイン	第5回	
概要	性能 提案詳細など	概要	
第6回	その他、インテリア材料 量 タイル 床材	第6回	
概要	パース用グリッドの作成	概要	
第7回	課題 マンションのコーディネート①	第7回	
概要	床壁天井 イメージアイテムのセレクト	概要	
第8回	課題 マンションのコーディネート②	第8回	
概要	ドローイング 平面に家具配置等	概要	
第9回	課題 マンションのコーディネート③	第9回	
概要	パース作成 提出	概要	
第10回	トータルコーディネート 提案力について	第10回	
概要	小物の選び方	概要	
第11回	資格試験について…試験内容 サンプル問題	第11回	
概要	夏季集中講座のスケジュール	概要	
第12回	課題 住宅のトータルコーディネート①	第12回	
概要	コンセプト カラースキーム サンプル選び	概要	
第13回	課題 住宅のトータルコーディネート②	第13回	
概要	各自でイメージを決め 家具 照明を選ぶ	概要	
第14回	課題 住宅のトータルコーディネート③	第14回	
概要	パース 家具・照明配置平面作成	概要	
第15回	課題 住宅のトータルコーディネート④	第15回	
概要	カラースキーム パース 家具配置図 提出	概要	

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202212

科目名	インテリアコーディネートⅡ			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	田中 嘉代		

授業の目標・ねらい

インテリアコーディネーター資格を取得する能力をつけ、インテリアに関する基礎的知識を理解する。

教科書・参考書名	プリント
----------	------

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○	○		
プレゼンテーション	10%				○	
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回		第1回	1次資格直前総合試験問題
概要		概要	
第2回		第2回	2次資格試験問題 パース作成
概要		概要	
第3回		第3回	2次資格試験問題 平面図の家具配置
概要		概要	
第4回		第4回	2次資格試験問題 説明文の作成
概要		概要	
第5回		第5回	2次資格試験問題 プrezentation
概要		概要	
第6回		第6回	オーダー家具の提案 デザイン 家具作図
概要		概要	オーダー家具の提案から発注までの流れ
第7回		第7回	課題 イメージボード グループ作成
概要		概要	シンプルモダン クールモダンの解明
第8回		第8回	課題 イメージボード グループ作成
概要		概要	幅広いナチュラル の解明
第9回		第9回	課題 イメージボード グループ作成
概要		概要	エレガント の解明 歴史等
第10回		第10回	課題 イメージボード グループ作成
概要		概要	クラシック ダンディの解明
第11回		第11回	課題 イメージボード グループ作成
概要		概要	カントリー シーカーの解明
第12回		第12回	課題 イメージボード グループ作成
概要		概要	
第13回		第13回	課題 イメージボード グループ作成
概要		概要	カジュアル スカンジナビアの解明
第14回		第14回	課題 イメージボード グループ作成
概要		概要	ジャパニーズ 和モダンの解明
第15回		第15回	課題 プrezentation
概要		概要	

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202312

科目名	不動産			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	4単位	担当教員	谷川 博康・水谷 敏		
				実務経験および関連資格	不動産コンサルティング業務または不動産仲介の経験を有する教員による講義や演習。一级建築士、宅建士、一级建施管建築コス管管理士		

授業の目標・ねらい

不動産を中心とした法・経済・工学等の内容を多岐に学ぶことで、土地や建物を公正かつ円滑に取引するために必要な知識を身につけ、不動産取引の契約・登記・手続きを実用的に理解する。併せて、宅地建物取引士の資格取得を目指す。

教科書・参考書名 みんなが欲しかった! 宅建士の教科書

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	40%	○				
小テスト	20%	○				
課題	30%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	土地・建物の権利関係 (民法)	第1回	法令上の制限
概要	民法総則 (権利能力、意思表示)	概要	都市計画法 (都市計画区域、地域地区)
第2回	土地・建物の権利関係 (民法)	第2回	法令上の制限
概要	民法総則 (代理、時効)	概要	都市計画法 (開発許可、都市計画事業制限、)
第3回	土地・建物の権利関係 (民法)	第3回	法令上の制限
概要	物権 (物権変動、所有権、占有権)	概要	建築基準法 (集団規定)
第4回	土地・建物の権利関係 (民法)	第4回	法令上の制限
概要	物権 (抵当権)	概要	建築基準法 (建築確認、建築協定)
第5回	土地・建物の権利関係 (民法)	第5回	法令上の制限
概要	債権 (弁済・解除、連帯債務・保証)	概要	国土利用計画法
第6回	土地・建物の権利関係 (民法)	第6回	法令上の制限
概要	債権 (弁済・相殺、債権譲渡、賃貸借)	概要	農地法
第7回	土地・建物の権利関係 (民法)	第7回	法令上の制限
概要	家族法 (相続・遺贈)	概要	土地区画整理法
第8回	宅地建物取引業法	第8回	法令上の制限
概要	宅地建物取引業の基本、免許の基本	概要	宅地造成等規制法、その他の法令上の制限
第9回	宅地建物取引業法	第9回	土地・建物の権利関係 (特別法)
概要	宅地建物取引士、登録と宅建取引士証	概要	借地借家法 (借地関係)
第10回	宅地建物取引業法	第10回	土地・建物の権利関係 (特別法)
概要	営業保証金、弁済業務保証金制度	概要	借地借家法 (借家関係)
第11回	宅地建物取引業法	第11回	土地・建物の権利関係 (特別法)
概要	事務所、案内所等に関する規制	概要	区分所有法
第12回	宅地建物取引業法	第12回	土地・建物の権利関係 (特別法)
概要	業務上の規制	概要	不動産登記法
第13回	宅地建物取引業法	第13回	税・その他
概要	自ら売り主となる場合の8つの規制 (8種制限)	概要	不動産に関する税金
第14回	宅地建物取引業法	第14回	税・その他
概要	報酬に関する規制、監督・罰則	概要	不動産鑑定評価基準、地価公示法
第15回	宅地建物取引業法	第15回	税・その他
概要	住宅瑕疵担保履行法	概要	住宅金融支援機構法、景品表示法、土地・建物

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202313

科目名	福祉住環境			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	4単位	担当教員	谷川 博康		

授業の目標・ねらい

高齢者や障害者をはじめ、すべての人に対して住みやすい住環境を提案するアドバイザーとして、医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識を身につけ、各種の専門家と連携をとりながらクライアントに適切な住宅改修プランを提示できるようにする。また、福祉用具や諸法制度情報などについても知識と能力を身につけ、適切なアドバイスを行えるようにする。

教科書・参考書名 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○				
小テスト	20%	○				
課題	20%	○	○	○		
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	暮らしやすい生活環境をめざして	第1回	高齢者・障害者を取り巻く社会状況と住環境
概要	少子高齢社会と共生社会への道	概要	高齢者の生活状況と住環境整備
第2回	暮らしやすい生活環境をめざして	第2回	高齢者・障害者を取り巻く社会状況と住環境
概要	福祉住環境整備の重要性・必要性	概要	障害者の生活状況と住環境整備
第3回	暮らしやすい生活環境をめざして	第3回	障害のとらえ方と自立支援のあり方
概要	在宅生活の維持とケアサービス①(介護保険制度)	概要	リハビリテーションと自立支援のあり方
第4回	暮らしやすい生活環境をめざして	第4回	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備
概要	在宅生活の維持とケアサービス②(障害者総合支援法)	概要	脳血管障害・廃用症候群・骨折・認知症
第5回	健康と自立をめざして	第5回	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備
概要	高齢者の健康と自立	概要	関節リウマチ・パーキンソン病・糖尿病・心筋梗塞
第6回	健康と自立をめざして	第6回	障害別にみた福祉住環境整備
概要	障害と自立への方策	概要	肢体不自由・内部障害
第7回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	第7回	障害別にみた福祉住環境整備
概要	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方	概要	視覚障害・聴覚・言語障害・認知・行動障害
第8回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	第8回	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方
概要	生活のなかの問題点と用具の活用(共用品と福祉用具)	概要	相談援助の手法、福祉住環境整備関連職への理解と連携
第9回	安全・安心・快適な住まいの整備	第9回	福祉住環境整備の共通基本技術
概要	住まいの整備のための基本技術	概要	段差の解消、床材の変更、手すりの取り付け
第10回	安全・安心・快適な住まいの整備	第10回	福祉住環境整備の共通基本技術
概要	屋外移動・外出、屋内移動(廊下・階段)	概要	建具・スペースへの配慮、色彩・照明計画、非常時対応
第11回	安全・安心・快適な住まいの整備	第11回	生活行為別福祉住環境整備の手法
概要	排泄・整容・入浴・清掃・洗濯・調理	概要	外出・屋内移動、排泄における福祉住環境整備
第12回	安全・安心・快適な住まいの整備	第12回	生活行為別福祉住環境整備の手法
概要	起居・就寝・妊娠・子どもに対する配慮	概要	入浴・調理と食事、就寝における福祉住環境整備
第13回	安心できる住生活とまちづくり	第13回	在宅生活における福祉用具の活用
概要	ライフスタイルの多様化と住まい	概要	福祉用具の意味と適用、起居・就寝・移動
第14回	安心できる住生活とまちづくり	第14回	在宅生活における福祉用具の活用
概要	人にやさしいまちづくり	概要	排泄、入浴、生活動作補助用具
第15回	安心できる住生活とまちづくり	第15回	福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識
概要	地域で取り組む福祉のまちづくり実践事例	概要	住宅改修の事例と実践

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202213

科目名	色彩学 I			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	田中 嘉代		

授業の目標・ねらい

色彩に関する基礎知識を学び、その学術的な専門知識と手法を修得し、実践的な感性を養う。建築、都市、環境のあらゆる分野において色彩の重要性を認識して、色彩を用いて自由に創造・設計できるようになる。

教科書・参考書名 カラーコーディネーター 検定試験 プリント

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト						
課題	30%		○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	生活と色の効果	第1回	
概要	誘目性・視認性	概要	
第2回	生活と色の効果	第2回	
概要	補色を楽しむ バイオミクリーとは	概要	
第3回	色の基礎事項 光から生まれる	第3回	
概要	可視光線の発見	概要	
第4回	色の基礎事項 光から生まれる	第4回	
概要	光の特性 虹・青空・夕焼け・雲	概要	
第5回	眼の役割	第5回	
概要	眼のしくみを知る	概要	
第6回	色の効果を活用	第6回	
概要	同化効果・対比効果	概要	
第7回	色の分類	第7回	
概要	色の三属性	概要	
第8回	物体色の色名	第8回	
概要	伝統色名	概要	
第9回	PCCS	第9回	
概要	マンセル表色系	概要	
第10回	色彩調和論から原理を探る	第10回	
概要	きれいな色を作る	概要	
第11回	ナチュラルハーモニー	第11回	
概要	配色を使いこなす	概要	
第12回	消費者が選択する色	第12回	
概要	新商品ができるまで	概要	
第13回	写真の中の色	第13回	
概要	写真から色を見つける	概要	
第14回	重ねの色目	第14回	
概要	平安の衣装・色の使い方	概要	
第15回	パーソナルカラーを学ぶ	第15回	
概要	日常生活に活用できる色彩の魅力	概要	

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202214

科目名	色彩学Ⅱ			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	田中 嘉代		

授業の目標・ねらい

色彩に関する基礎知識を学び、その学術的な専門知識と手法を修得し、実践的な感性を養う。建築、都市、環境のあらゆる分野において色彩の重要性を認識して、色彩を用いて自由に創造・設計できるようになる。

教科書・参考書名 カラーコーディネーター 検定試験テキスト

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト						
課題	30%		○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回		第1回	カラーリストの実務
概要		概要	後期授業説明 カラーの仕事
第2回		第2回	インテリアの色彩1
概要		概要	インテリアの色彩1 インテリアスタイル・イメージ分類
第3回		第3回	インテリアの色彩2
概要		概要	コーディネーション
第4回		第4回	プロダクトの色彩
概要		概要	売れ筋商品はなぜ売れるのか
第5回		第5回	環境色彩1
概要		概要	色彩の地理学
第6回		第6回	環境色彩2
概要		概要	景観法
第7回		第7回	環境色彩3
概要		概要	近隣を巡る
第8回		第8回	環境色彩4
概要		概要	色の常識・非常識
第9回		第9回	配色構成要素1
概要		概要	配色用語
第10回		第10回	配色構成要素2
概要		概要	色彩調和
第11回		第11回	色を作る
概要		概要	染料・顔料
第12回		第12回	ビジュアルスキル
概要		概要	作品制作・コラージュ
第13回		第13回	心理的色彩効果
概要		概要	色彩による性格を知る
第14回		第14回	卒業制作の外観色
概要		概要	課題製作
第15回		第15回	卒業制作の外観色
概要		概要	課題製作

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202314

科目名	建設ビジネス学			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	谷川 博康・渕上 久子		

授業の目標・ねらい

自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識と技能を習得する。

教科書・参考書名	ビジネス能力検定 ジョブパス3級公式テキスト						
----------	------------------------	--	--	--	--	--	--

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○				
小テスト	20%	○				
課題	20%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第1回	
概要	キャリアと仕事へのアプローチ	概要	
第2回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第2回	
概要	仕事の基本となる8つの意識	概要	
第3回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第3回	
概要	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	概要	
第4回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第4回	
概要	指示の受け方と報告、連絡・相談	概要	
第5回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第5回	
概要	話し方と聞き方のポイント	概要	
第6回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第6回	
概要	来客応対と訪問の基本マナー	概要	
第7回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第7回	
概要	会社関係でのつき合い	概要	
第8回	仕事の実践とビジネスツール	第8回	
概要	仕事への取り組み方	概要	
第9回	仕事の実践とビジネスツール	第9回	
概要	ビジネス文書の基本（社内文書と社外文書）	概要	
第10回	仕事の実践とビジネスツール	第10回	
概要	電話応対	概要	
第11回	仕事の実践とビジネスツール仕事の実践	第11回	
概要	統計・データの読み方・まとめ方	概要	
第12回	仕事の実践とビジネスツール	第12回	
概要	情報収集とメディアの活用	概要	
第13回	仕事の実践とビジネスツール	第13回	
概要	会社を取り巻く環境と経済の基本	概要	
第14回	職業とキャリア	第14回	
概要	職業適性と自己分析、キャリアデザイン	概要	
第15回	職業とキャリア	第15回	
概要	応募書類（エントリーシート、履歴書）と面接の基本	概要	

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202315

科目名	建築総論 I			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	辰井菜緒		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

建設業界の多様な分野のスペシャリストから業界の実情を学び、見学や体験によりスケール感を養う。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	10%	○	○			○
小テスト						
課題	20%	○				
プレゼンテーション	10%	○	○	○	○	
グループワーク	20%	○		○	○	○
授業での姿勢	10%					○
その他(レポート)	30%	○		○		
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回		第1回	ガイダンス
概要		概要	総論の概要・目的
第2回		第2回	グループワーク
概要		概要	考察と提案
第3回		第3回	建築の基礎知識
概要		概要	表現手法を学ぶ
第4回		第4回	建築の基礎知識
概要		概要	表現手法を学ぶ
第5回		第5回	建築の基礎知識
概要		概要	表現手法を学ぶ
第6回		第6回	グループワーク
概要		概要	考察と提案
第7回		第7回	グループワーク
概要		概要	考察と提案
第8回		第8回	グループワーク
概要		概要	プレゼンテーションを行う
第9回		第9回	デジタルの基礎知識
概要		概要	リテラシー教育1
第10回		第10回	デジタルの基礎知識
概要		概要	リテラシー教育2
第11回		第11回	デジタルの基礎知識
概要		概要	リテラシー教育3
第12回		第12回	デジタルの基礎知識
概要		概要	リテラシー教育4
第13回		第13回	グループワーク
概要		概要	考察と提案
第14回		第14回	グループワーク
概要		概要	考察と提案
第15回		第15回	グループワーク
概要		概要	プレゼンテーションを行う

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202215

科目名	建築総論Ⅱ			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	辰井菜緒		
				実務経験および関連資格	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。 一級建築士		

授業の目標・ねらい

現代建築の基本知識を深め、見解力を養う。グループワークを通して役割分担やまとめる力を養い、チームワークを学ぶ。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	10%	○	○	○	○	○
小テスト						
課題	40%	○	○	○	○	
プレゼンテーション	20%	○	○	○	○	
グループワーク	20%			○	○	○
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ガイダンス	第1回	
概要	総論の概要・目的	概要	
第2回	PCの基礎1	第2回	
概要	プログラミング	概要	
第3回	PCの基礎2	第3回	
概要	プログラミング	概要	
第4回	PCの基礎3	第4回	
概要	プログラミング	概要	
第5回	建築の応用1	第5回	
概要	表現手法を学ぶ	概要	
第6回	建築の応用2	第6回	
概要	表現手法を学ぶ	概要	
第7回	建築の応用3	第7回	
概要	表現手法を学ぶ	概要	
第8回	グループワーク	第8回	
概要	考察と提案	概要	
第9回	グループワーク	第9回	
概要	考察と提案	概要	
第10回	グループワーク	第10回	
概要	考察と提案	概要	
第11回	グループワーク	第11回	
概要	プレゼンテーション	概要	
第12回	グループワーク	第12回	
概要	考察と提案	概要	
第13回	グループワーク	第13回	
概要	考察と提案	概要	
第14回	グループワーク	第14回	
概要	考察と提案	概要	
第15回	グループワーク	第15回	
概要	プレゼンテーション	概要	

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202316

科目名	ワークショップ I			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	山本 順也・穴吹 勇樹		
				実務経験および関連資格	施工および施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。 1級建築施工管理技士		

授業の目標・ねらい

この授業を通して、建築建物の構造を確認し、設計・施工の業務内容を理解する。
建築全般の仕事内容・取り組む姿勢を学び、設計時の留意点や建築材料・施工方法・安全管理等について、DVDや実習を通して学ぶ。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	20%	○				
小テスト						
課題	50%	○			○	
プレゼンテーション						
グループワーク	20%					○
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ガイダンス	第1回	
概要	授業内容確認、施設見学	概要	
第2回	建築建物の構造 ①	第2回	
概要	木構造	概要	
第3回	建築建物の構造 ②	第3回	
概要	鉄筋コンクリート構造	概要	
第4回	建築建物の構造 ③	第4回	
概要	鉄骨構造	概要	
第5回	建築建物の構造 ④	第5回	
概要	仕上げ工事	概要	
第6回	測量実習 ①	第6回	
概要	測量機器の取扱い方法	概要	
第7回	測量実習 ②	第7回	
概要	レベル 器械の取扱い	概要	
第8回	測量実習 ③	第8回	
概要	レベルによる高低差測量とデーター整理	概要	
第9回	測量実習 ④	第9回	
概要	セオドライト 器械の取扱い	概要	
第10回	測量実習 ⑤	第10回	
概要	セオドライトによる内角測量とデーター整理	概要	
第11回	測量実習 ⑥	第11回	
概要	トータルステーション 器械の取扱い	概要	
第12回	免震構造	第12回	
概要	免震装置 見学	概要	
第13回	原位置試験	第13回	
概要	地盤の支持力 確認試験方法	概要	
第14回	職業理解	第14回	
概要	設計・施工管理の仕事	概要	
第15回	社会人の心得	第15回	
概要	外部講師による講演会	概要	

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202316

科目名	ワークショップ II			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	山本 順也・小倉 全勝		
				実務経験および関連資格	施工および施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。 1級建築施工管理技士		

授業の目標・ねらい

「ワークショップ I」で学んだ内容を基本として、現場作業手順の確認や工具の使い方、施工管理・安全管理上の注意点等について、実習を通して学ぶ。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	20%	○				
小テスト						
課題	50%	○			○	
プレゼンテーション						
グループワーク	20%					○
授業での姿勢	10%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	ガイダンス	第1回	
概要	授業内容確認、施設見学	概要	
第2回	測量実習 ①	第2回	
概要	高低差測量 (BM設置)	概要	
第3回	測量実習 ②	第3回	
概要	セオドライ特応用測量 (斜距離→水平距離)	概要	
第4回	工事測量 ①	第4回	
概要	トータルステーション 応用測量	概要	
第5回	工事測量 ②	第5回	
概要	墨出し (基準墨、曲線墨)	概要	
第6回	施工実習 ①	第6回	
概要	丁張設置	概要	
第7回	施工実習 ②	第7回	
概要	外部足場の組立て (枠組足場)	概要	
第8回	施工実習 ③	第8回	
概要	外部足場の組立て (単管足場)	概要	
第9回	施工実習 ④	第9回	
概要	鉄筋の組立て	概要	
第10回	施工実習 ⑤	第10回	
概要	型枠支保工の組立て	概要	
第11回	施工実習 ⑥	第11回	
概要	内型枠・外型枠の組立て	概要	
第12回	施工実習 ⑦	第12回	
概要	鉄骨の建て方	概要	
第13回	施工実習 ⑧	第13回	
概要	軽量鉄骨	概要	
第14回	施工実習 ⑨	第14回	
概要	壁下地処理	概要	
第15回	施工実習 ⑩	第15回	
概要	仕上げ施工	概要	

修成建設専門学校

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B1202317

科目名	企業実習 I			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	辰井 菜緒		

授業の目標・ねらい

企業実習を通して、設計現場・デザイン事務所あるいは施工現場にて技術者が仕事に対して取り組む姿勢を学び、最新の技術・材料・法規などを体験する。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○		○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	1. 概要	第1回	
概要	(1)社会人とは	概要	
第2回	(2)実習先の概要・沿革	第2回	
概要	(3)仕事の進め方	概要	
第3回	(4)ビジネスマナー	第3回	
概要		概要	
第4回	2. 設計コース	第4回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第5回	(2)設計図書の作成・CAD入力	第5回	
概要	(3)模型製作	概要	
第6回	(4)構造計算・建築積算	第6回	
概要		概要	
第7回	3. デザインコース	第7回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第8回	(2)現地調査補助	第8回	
概要	(3)模型製作	概要	
第9回	(4)デザイン・インテリア設計、制作	第9回	
概要		概要	
第10回	4. 施工管理コース	第10回	
概要	(1)実習先における業務内容の習得	概要	
第11回	(2)施工図の作成・CAD入力	第11回	
概要	(3)工程管理	概要	
第12回	(4)安全管理	第12回	
概要		概要	
第13回		第13回	
概要		概要	
第14回		第14回	
概要		概要	
第15回		第15回	
概要		概要	

2025年度授業計画(シラバス)

参照番号: B2202217

科目名	企業実習Ⅱ			対象学科	建築デジタルデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	辰井 菜緒		

授業の目標・ねらい

就職先を踏まえ、2年生の企業実習を通して、設計現場・デザイン事務所あるいは施工現場にて、最新の技術・材料・法規などを体験し、将来の仕事の参考にする。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○		○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他()						
その他()						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	1. 概要 概要 (1)実習先の概要・沿革	第1回	
第2回	(2)仕事の進め方 概要	第2回	
第3回	2. 設計コース 概要 (1)実習先における業務内容の習得	第3回	
第4回	(2)設計図書の作成・CAD入力 概要 (3)模型製作	第4回	
第5回	(4)構造計算・建築積算 概要	第5回	
第6回	3. デザインコース 概要 (1)実習先における業務内容の習得	第6回	
第7回	(2)現地調査補助 概要 (3)模型製作	第7回	
第8回	(4)デザイン・インテリア設計、制作 概要	第8回	
第9回	4. 施工管理コース 概要 (1)実習先における業務内容の習得	第9回	
第10回	(2)施工図の作成・CAD入力 概要 (3)工程管理	第10回	
第11回	(4)安全管理 概要	第11回	
第12回		第12回	
概要		概要	
第13回		第13回	
概要		概要	
第14回		第14回	
概要		概要	
第15回		第15回	
概要		概要	